

# 広報部会 土門 一枝 部会長

この約4年で28号までのまちづくり通信をだしました。色々な情報を提供してきましたがお役に立ちましたでしょうか？沢山の人の協力をいただきながら無事最終号を出すことが出来、ありがとうございました。

新しい住家はいかがですか？長いような短いような5年間でしたね。名称委員会も広報部が関わり若い人たちにも手伝っていただき「あおい」という名前になりました。住所が短くなってよかったなと思っている人が多いと思います。私も思っております。書き馴れないですが(笑)

部会・としまち研、市役所の皆様には大変お世話になりました。まだまだ助けていただく事もあると思いますのでよろしくお願い致します。

まちづくり通信はこれまでに合計30回発行しました(設立準備号、臨時号含む)  
まちづくりの検討状況やイベントの案内など、わかりやすく伝えられるよう、工夫しました



## 会長挨拶 ~笑顔で前へ~



協議会の設立から約4年、皆さんと一緒に、どんなまちを作り、どんな暮らし方をするか等、多くの事を話し合い、新しいまち「あおい地区」が出来ました。

ふり返れば、これもひとえに住民の皆さんの力であり、一年間に120回も会議を行い意見をまとめた役員の方々の努力であります。また、協議会事務局としてアドバイスや資料の作成や会議の進行役として活躍して下さった皆さんの力もあつたからです。一方では、意見を取り入れた造成工事や建設工事に関わり、奮闘して下さった行政や議会の方々、工事関係者の方々、ボランティアさんや支援団体の方々のご協力、お力添えが有つてのことです。皆々様、ありがとうございます。心よりお礼と感謝申し上げます。

これまでは、20年後、30年後に子や孫に喜んでもらえるまち・震災で亡くなった方々の魂の帰って来る、新しい故郷のまち・全国各地からのボランティアの方々やご支援をいただいた方々へのお礼を込めた新しいまち、その様な意味合いの「日本一のまち」を目指し、活動を行ってきました。

これからは介護予防や見守り活動等を行い、高齢者や子供達が安心安全に暮らせるまち、笑顔で前を進むまち、心の復興が出来るまち、「日本一のまち あおい」をみんなでつくっていきましょう。

あおい地区まちづくり整備協議会 会長 小野 竹一



あおい地区(H28.8)

発行 あおい地区まちづくり整備協議会  
〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸36番地1 東松島市役所生活再建支援課内(事務局:松本、千葉)  
Tel: 0225-82-1111/ fax: 0225-82-7322/ E-mail: iten@city.higashimatsushima.miyagi.jp

第28号(最終号) 平成28年10月7日

# あおい地区 まちづくり通信

発行 あおい地区まちづくり整備協議会 広報部会

### 目次

協議会の解散	1面
まちびらきイベントの開催	1面
自治会設立準備研修会の開催	2面
三丁目地区自治会の設立	2面
災害公営住宅の引渡し	2面
自治会設立お祝いコンサートの開催	3面
あおい夏まつりの開催	3面
各部会の活動を振り返る	4面~8面
会長挨拶	8面

## まちづくり整備協議会を解散~あおい地区は次のステップへ~

平成28年9月24日(土)、あおい一丁目公園を会場に解散総会を開催し、小野会長より本協議会の解散が宣言されました。

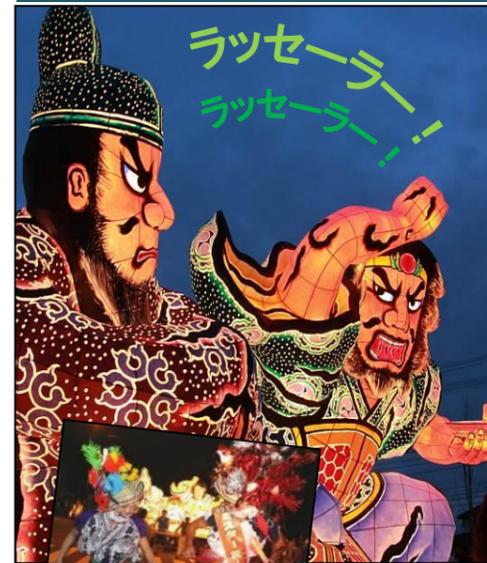
協議会は、防災集団移転団地の住民主体のまちづくりを推進するために設立されましたが、地区内の宅地引渡し・災害公営住宅の鍵引渡しが完了し、また、各丁目の自治会やあおい地区会が設立され、ハード面・ソフト面共に新たなまちの基盤が整ったため、解散の運びとなりました。

また、今年度の事業報告や解散に伴う清算書類は、後日、各会員へ送付いたします。

小野会長による解散宣言 ▶



## まちびらきをお祝い!ねぶた祭りが開催されました



解散総会と同日、あおい地区の新たな一歩をお祝いし、「あおい地区まちびらき 青森ねぶたまつり」が開催されました。

東松島ふるさと復興大使を務める立花英樹さんのコンサートと、「みちのく仙台ORI☆姫隊」のライブで盛り上がり、その後、青森市のNPO法人「青森じゃわめぎ隊」によるねぶたが地区を練り歩きました。

また、仙台市の菅原動物病院の協力を得て、あおいペットクラブ主催の動物ふれあいコーナーと剥製パンダの展示も行われ、子供たちの明るい声が上がりました。

### イベント開催にあたり寄付をいただきました(敬称略)

- ・UR都市機構
- ・株式会社フジタ
- ・株式会社安藤・間
- ・東松島市工務店協同組合

立花英樹さんより、焼きそばを提供いただきました



### 可愛いウサギやモルモット



▲みちのく仙台ORI 姫☆隊のステージ

◀屋台も賑わいました

▲パンダの剥製が展示されました

# あおい三丁目地区 自治会設立準備研修会を開催

6月19日(日)、市コミュニティセンターであおい三丁目地区住民を対象とした研修会を開催しました。

ゲストとして、東北文化学園大学の准教授 野崎瑞樹さんと、宮城県サポートセンター支援事務所の社会福祉士 真壁さおりさんをお迎えし、地区会の小野会長と高齢者等見守り部会の零石部会長と共にフリートーク形式で研修を行いました。

その後、地域活性化商業施設「Harappa」内の「畑のパン屋さん」で販売中のパンや、熊本地震の復興支援の一助として熊本県・大分県の物産等を軽食として取りながら、再建エリアごとに顔合わせを行いました。



### ○研修での意見ピックアップ

- ・電話や訪問での「見守り」は、する側もされる側も疲れてしまう。まずは地域内の「居場所作り」から始めることを提案したい。
- ・「居場所」に出て来られない方には個別の声掛けや生活支援を行うなど、段階的に無理のない範囲で見守りを進めてはどうか。
- ・住民、行政、社協などの第三者が三位一体となって関わることで、素敵なまちづくりに繋がると思う。
- ・趣味の集まりがあれば、近所に住んでいる方の顔と名前がわかりやすい
- ・顔を出すこと、話をするのが一番大事。

# あおい三丁目地区自治会が設立されました

6月29日(水)、市コミュニティセンターであおい三丁目地区自治会の設立総会が開催され、自治会の規約や役員、初年度の活動と予算、防災計画案が承認されました。総会の最後には、役員を代表して松川浩自治会長より挨拶がありました。

定期的なお茶飲み会も開催されており、三丁目自治会の活動がスタートしています。



▲三丁目地区自治会の役員の方々

### あおい三丁目地区自治会長 挨拶

早いもので、7月に自治会が立ち上がり3ヶ月が経ちました。敬老会、お茶会等、少しずつではありますが、住民間のコミュニケーションが出てきたように思われます。今後は、住民が外に出て、色々なところで遊ぶ姿、話し声が聞こえるまち、地区をつくっていったらと思います。

三丁目自治会長 ▶  
松川 浩さん



# 第Ⅳ期災害公営住宅（二戸一エリア）の鍵が引渡されました！



左から  
阿部市長、入居者代表伊藤さん、UR 佐分本部長

7月27日(月)、市営あおい住宅（第Ⅳ期 二戸一住宅エリア）の鍵引き渡し式が開催されました。

式ではUR都市再生機構 宮城・福島震災復興支援本部の佐分本部長と東松島市 阿部市長から、入居者を代表して伊藤甲一さんへレプリカの鍵が引き渡されました。

式終了後には入居者への鍵引渡しが行われ、翌日より順次入居が始まっています。

なお、今回の鍵引渡しで、地区内の災害公営住宅の鍵引渡しは全て完了となりました。

# コミュニティ推進部会 零石 浩 部会長

当部会の主な仕事としては、会員相互のコミュニティをどう構築、維持し活動してゆくかということです。具体的には、一丁目から三丁目までの自治会の設立及び地区会の設立に携わったことでした。とりわけ部会の会議や各自治会の設立にあたっての話し合いは多忙を極めました。おおむね順調に推移しており、苦勞の甲斐があったと思っております。これもひとえに部会員の皆さま、市担当職員の方々、サポートして頂いた団体の方々、そして何よりもとしまち研の方々、関わっていただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。そしてこのご恩の御礼は「あおい」がすばらしいまちになることだと思います。安心・安全なまち。そして住んでいて良かったと思えるまちになるようご祈念いたします。長い間ありがとうございました。



◀井戸端会議で自治組織についての意見を集約しました



◀ごみ当番や班長等の役割について説明(三丁目)

▶顔合わせと隣地境界についての話し合いができる場をセッティング(一丁目)



▶自治会設立準備会を開催し、円滑な設立を支援しました(二丁目)



# あおいペットクラブ 津田 金一 会長

ミミ(犬の名前)は産まれてすぐに山に捨てられているのを我が家で引き取り、ミルクをスポイトで飲ませながら家族皆で育てた犬です。病院にも何回も行きました。

あの震災の時も奇跡的に助かりました。水没した車のフロントガラスを割られ(誰かが割ってくれたのです)そこからミミは脱出したと思います。あの混乱のなかで2週間たったあの日、ミミの生きてることを知らせて頂きました。涙の対面でした。

あの震災で可愛がっていたペットを失った方は多くいると思います。又、助かったペットもいます。今回公営住宅の入居に当り、震災で助かったペットなので、何とか飼わせてほしいと、市に何回もお願いして、特別に飼わせて頂くことになったのです。

公営住宅に入居してからペット(犬)について苦情が寄せられています。ペットの好きな方、嫌いな方もいますので、マナーを守って迷惑をかけないのがルールです。残念なことに糞をそのままにして立ち去る方がいるということで、糞に関して多くの苦情が寄せられています。飼い主は「マナーとルール」を守って、新しい街、あおい地区が清潔な住みよい街になることを願っています。



▶散歩を兼ねたパトロールや、交流イベントで動物ふれあいコーナーを開催するなど、ペットを飼育しやすいコミュニティづくりを進めています  
ペットクラブは引き続きあおい地区会で活動していきます

### 研修・イベント部会 土井 和志 部会長

こんにちは！まちづくり整備協議会の研修・イベント部会長を務めていました土井と申します。これまでの研修やイベント開催に際しては、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

こうして来れた事は一重にあおい住民の方々や役員の方々、また、市の生活再建支援課の方々や東北こんそのの方々、男塾の方々まだまだ多くの方からご支援を頂いたことで任期を全うできたと思っております。本当に有難うございました。感謝申し上げます。

これからも、あおいの住民として自治会や地区会のイベントへは「置かれた場所で咲きなさい」精神で積極的に参加していこうと思っています。どうぞこれからも宜しくお願い致します。

#### 交流会

- H25. 6 東矢本駅北地区まちづくり整備協議会 大交流会
- H25. 10 被災地復興支援音楽祭
- H26. 5 大交流会
- H26. 10 大交流会～第1次入居祝いねぶた祭り～
- H27. 5 三丁目公園 遊具設置セレモニー
- H27. 8 二丁目公園 健康遊具引渡しイベント
- H27. 10 大交流会 ～宅地引渡し完了祝いねぶた祭り～
- H27. 12 あおい☆星空イルミネーション点灯式

#### 研修会

- H25. 3 住宅団地視察研修会（大崎市・利府町・セヶ浜町）
- H25. 5 街づくり勉強会（保健相談センター）
- H25. 10 家づくり勉強会（コミセン）
- H25. 11 まちづくり勉強会（大曲市民センター）
- H26. 3 ペットとの共生についての研修会（大曲市民センター）
- H26. 10 住宅建築勉強会（大曲市民センター）
- H27. 9 自治会設立準備研修会（宮戸地区の民宿）
- H27. 10 第2回自治会設立準備研修会（大曲市民センター）
- H28. 3 先進事例研修会～神戸の事例に学ぶ～（コミセン）
- H28. 6 三丁目地区自治会設立準備研修会（コミセン）



### 「新しいまち」の名称選考委員会 津田 京子 委員長

まちづくり整備協議会「名称選考委員会」に所属し、「新しいまち」の名称について役員会で何度も審議・検討を重ね、市民の皆様のご応募票数の最も多かった「あおい」に決定されました。

杉山理事長様を始めとしたとしまち研の方々、市関係者、役員の方々にはご協力を賜り、大変ありがとうございました。「あおい」という地名は大切に継承されていく事と思います。



◀応募があった293点の候補の中から、会員による投票・選考委員による投票を経て、「あおい」に決定しました

「あおい」には、東松島市のイメージ（海・空・田んぼ）を表し、かつ住所表記時に「東松島市～」に続けても短くわかりやすい、という思いが込められています

また、将来のまちの名前を選考するため、選考委員会には中学生・高校生も参加していただき、一緒に検討を行いました

### 自治会設立お祝いコンサートの開催

7月18日（月）、市コミュニティセンターを会場に、「あおい地区自治会設立お祝いコンサート」が開催されました。

コンサート前には、屋外ステージで出演者によるミニコンサートが行われたほか、関係団体による屋台で会場は賑わいました。



屋台協力ありがとうございました！  
東京 GAIA ボランティアチーム  
東北文化学園大学の学生チーム  
東北圏地域づくりコンソーシアム



▲快晴の中、屋台に列が並びました！



▲ハラハラシンガーズ（東松島市）、渋谷修治さん（石巻市北上町）、ハートtoハート（東京）による歌声で会場は包まれました

### あおい地区夏まつりが開催されました！



▲たくさんの子供たちがだんじりを引き回しました



◀来場者も一緒に歌い、会場が一体となりました



▶躍動感あふれるすずめ踊りが披露されました

8月20日（土）、あおい西集会所と一丁目公園で、「あおい地区夏まつり」が開催されました。

横浜を拠点に活動されている、「一ノ蔵男声合唱団」「ハマ音合唱団」「女声合唱団 黎明」「合唱団 道」で構成される混声合唱団「横浜歌の絆の会」によるコンサートでは、会場全体で歌う場面もあり、来場者の歌声が響きました。

屋外では、松島祭連竹谷舞によるすずめ踊りが披露されたほか、ペット飼育マナー向上の為に募集した、地区内の小学生によるポスター発表も行われ、あおいペットクラブの津田会長から竹細工のプレゼントとNHK・TBCのキャラクターグッズが手渡されました。

また、フィナーレでは、子どもたちが玉造神社のだんじりを引き回し、大人も拍手と笑顔で見守っていました。

**歌の絆の会より、寄付金と電子ピアノの寄贈をいただきました。ありがとうございます！**



◀山形県新庄市の有志による餅つき体験もありました！



▶ペット飼育マナー向上ポスターの発表

# これまでの活動を振り返って

平成24年11月21日に協議会が設立されてから、「安全・安心で暮らしやすい日本一のまち」を作ることを目的として、「あおいは一つ」をスローガンに約4年間活動してきました。本号では協議会のこれまでの活動を、各部会長のコメントと共に振り返ります。

## 区画決定ルール検討部会 櫻井 靖雄 部会長

あおい地区の皆さんお元気ですか。私は区画決定ルール検討部会長の櫻井靖雄です。一言御挨拶させていただきます。部会は小野武則副部会長始め、9名で発足しました。



区画決定に至るまで、2012年1月に市と東松島市復興業務支援協定書を締結した、東矢本駅北地区まちづくり整備協議会事務局のとしまち研の指導のもと協議を積み重ね、今皆さんが快適に過ごされている区画に決定となりました。

### 区画決定基本方針

- ▶ 移転する世帯の意向を可能な限り尊重する
- ▶ 人とのつながり・コミュニティを大事にした進め方をする
- ▶ 最初から抽選ではなく、話し合いを前提として進める

### 区画決定手順



話し合いを前提としたブロック調整会・区画調整会を開催し、話し合いで決まらなかった場合の最終手段として抽選を実施する。

一丁目・二丁目・三丁目のどこがいいか、また区画が重複した時はどうするかなど、部会員以外の役員会でも協議をさせていただきました。あおい地区の皆様の協力で区画が決定した時は、部会員も皆様も、やっと一歩前進したかとの気持ちだったと思います。その後、区画決定ルール検討部会は252区画、調整会で確定後、解散となりました。

まだ空き区画があるようですが、まだまだ新築ラッシュです。皆様には体に気を付けてお過ごしください。関係者の方々には深く感謝申し上げます。

▲段階を踏み、話し合いを前提とした区画決定の進め方を取りまとめました。後に、災害公営住宅の住戸決定にも役立てています

## 災害公営住宅部会 相澤 善利 部会長

まちづくり整備協議会ができ、その中に災害公営住宅部会が設置されました。それからは市の建設課、UR都市機構さん等、関係各位の皆様との意見交換、部会からの要望申し入れなど、のべ30回近い会議を開き、平成26年11月の先行入居を経て、本年7月で全307世帯の入居完了致しました。皆様の多大なる御協力を感謝いたします。有難うございました。



▲5階建て集合住宅（二丁目）コミュニティ形成を促す目的で、住民のたまり場となるエレベーターホール設置を提案し、色彩や外壁素材についても検討を重ねました

▼部屋間取りのアンケートを行い、移転者の意見を取り入れた間取りを検討し、平屋の増数や複数の間取りプランの提案など、入居者の生活を考えた協議を行いました。協議会の意見が反映されているか、現場見学会も行いました

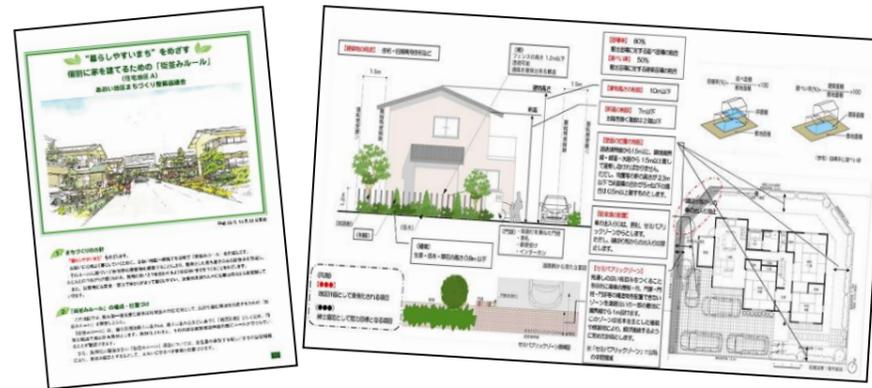


## 街並み検討部会 三浦 淳也 部会長

街並み検討部会を担当させていただきました三浦淳也です。月日も過ぎるのは早く、あっという間に約6年が過ぎました。初めは、右も左も解らなく前例の無い事で戸惑いましたが、地元大工さん工務店さんからの情報収集、あおいに住む方々からの意見の集約、少しずつ形が出来てきて、現在のあおいの街並みになりました。皆様の生活が安全安心に過ごせるものと思っております。



また、皆様の意見、知識の結晶とも言えるルール創りに参加でき、大変貴重な体験をさせてもらい感謝しております。今後も維持できるように手を取り合って頑張りましょう。



▲安全・安心で暮らしやすい街並みを形成するための「街並みルール」

▼やすらぎのある街路空間形成のため、緑化を進めましょう！



## 公共施設計画検討部会 相澤 良章 部会長

この度のまちづくり整備協議会の解散にあたり、一言述べさせていただきます。まず、長い間携わって頂いた役員の皆様、大変お疲れ様でした。又、としまち研のスタッフの方々や生活再建支援課を始めとする市役所の方々他、御協力頂きました皆様に改めて感謝申し上げます。私は協議会設立時から区画決めや公共施設を検討する部会で部会長をやらせて頂きました。皆様のご協力で自分なりに精一杯努めることが出来、感謝しております。時には、行政や会員の方々には厳しい意見や言動で失礼を致した事もあったと思いますが、これも新しい街づくりへの情熱から出たものと、お許し頂ければ幸いです。



3. 11の震災後、家族を亡くし、家も思い出の品も故郷を失くした私は一時生きることに疑問を抱きました。長女の葬儀を行う準備をする中で、妻や娘（次女）、孫の為、地域の知人・友人の為に、何かをする為に生き永らえたように思え、新しい街づくりの協議会に参加しました。

規制や予算などでいろいろ苦労しましたが、少しは「あおい団地の為にお手伝いが出来たかな？」と思っております。

今後も、自治会活動や地区会・地域活動に妻の協力をもらい、微力ながら貢献出来ればと思っております。

公園や集会所はそれぞれ用途に合わせた設計を心がけ、誰でもこの施設でも使用できるようにしました。その他、外灯や調整池など、公共施設全般に渡り検討しました

